

理学専攻 M2 アンケートの集計と分析

このアンケートは平成 25 年度 3 月に修了した自然科学研究科理学専攻の大学院生を対象としたアンケート調査である。アンケートの回答結果は、理学専攻および理学科の教育システムの改革や改善向上のために活用する。全対象院生からのアンケート回答回収を目指して、各研究室にアンケート用紙必要部数を封筒に封入して配布し、以下提出期限までに教務担当事務まで提出依頼した。

提出期限: 2013 年 2 月 8 日 (金)

提出場所: 理学系教務係

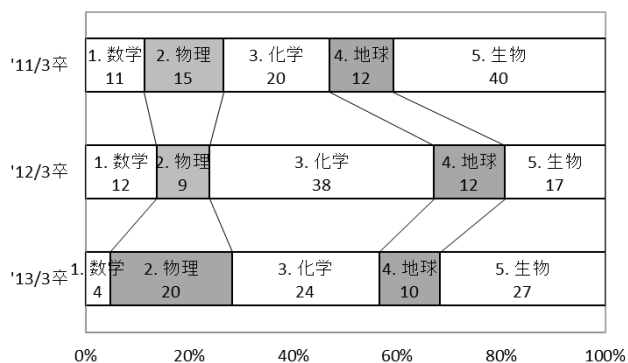
結果、86 名から回答を得ることができた。回収率は 97%であった。この報告書において回収したアンケートデータの集計とその分析を行った。

あなたの研究分野は何ですか

- 1. 数学 2. 物理学 3. 化学
- 4. 地球科学 5. 生物学

アンケート回答者数の分野ごとの数値である。

昨年度多かった化学コースの院生の数が減っている。数学専攻の院生数も過去 2 年間より少ない。



A. 入学時の志望理由について

(A1) 入学時に熊本大学大学院自然科学研究科理学専攻を選んだ理由を記述して下さい。

枠内はこの質問に対する全意見。以下の枠も同様。

- 3年進級時に選択した数学についてもっと深く学び、研究をしたいと思ったから。教育免許の専修免許取得のため。
- 学部時代に所属していた研究室の教授に勧められたから。 ・有名な教授が多数いらっしやっただけで、そのような環境で学びたいと思った。
- 熊本大学で4年間研究した内容をさらにきわめたいと思ったから。研究内容をきわめるにあたり、大学で指導をいただいた教助の方々のもとで研究をしていきたいと思ったから。
- 学部のときに勉強したことを引き続き研究したいと思ったため。
- 学部生時代に学んだことをより深く学ぶため。
- 学部の研究をそのまま続けられるから。
- 学部生のときに学んだ基礎知識をもとに専門知識を得たいと考えたため。
- 大学院に進学し、就職活動を行いたかったため。
- 熊本大学の学部時代の履修内容ではもの足りなかった。「熊本大学」に入学したことについては後悔していないが、「理学部理学科」に入科したことに対して少し後悔している。
- 学部生時の研究の継続のため。
- 技術職と教職どちらに就くかを悩んでいたため。技術職なら開発に携わりたかったので、より専門的な知識を得るため。
- 専門分野についてより深く学びたかったから。
- 実家から近かったのと、宇宙の勉強ができる場であったから。
- 大学で行っていた研究を引き続きしたかった為。
- 熊本大学の理学部で物理を専攻していたから。
- 教育免許取得のため。
- 研究内容
- 4年間通ったキャンパスと同じ場所であったため。
- 学部で物理を専攻していたため。
- より専門的な研究活動をしたかったから。
- 学部4年生の時に所属していた研究室に入って研究を続けるため。
- 教員を目指すに当たり、さらに深く学ぶため。
- 学部生のころは主に部活を生活の中心としていたため、あまり勉学に打ち込むことができなかった。そのため、大学院に進学することで本格的に学問や実験に集中して取り組みたいと考えたからである。
- 勉強したかったから。
- より専門的な知識を身につけ、実験を行うことによってより確かなものとするため。
- 4年生の研究を続けたいと考えてたからです。

- 学部在籍している同時に、本格的な実験や発表等の経験が少なく、もっと多くのことを学びたいと思ったから。
- 学部時に専攻していた化学分野の理解を深めたかったから。
- 4年次で卒業し、就職後に再び院生として（再度試験を受けて）入学することが難しいと思ったため。今しか学べないと思ったので入学を決めました。研究科を志望した理由は、4年次のみでの研究では達成が不十分だと感じたためです。
- 4年の時の研究テーマを続けて研究したかったため。
- 学部4年次の研究をそのまま続けたいと思ったから。
- 4年次より行っていた研究を続け、より専門的な知識や経験を積みたかったから。教養教育の期間を除くと、学部のみでは専門教育の時間が短いと感じたから。
- 学部の頃の研究を続けたいと思ったから。
- B4で行っていた研究を大学院でも続け、論文という形でまとめたいと思ったから。
- 熊本大学理学部に所属していたからです。4年生でやっていた研究を引き続きやっていきたいと思っていたので、進学しました。
- 幅広い研究を行っており、分野間の関係も有効なため。
- 様々な分野が学べるから。
- 他大学の院に進学して、新たな研究室で研究を続けるのではなく、同じ研究室に残り、学部まで進めていた研究を院でも続けていきたいと考えたため。
- 熊本大学理学部理学科を卒業したので。
- 熊本大学を卒業し、当時所属していた研究室で、さらなる研究に打ち込み、成長したいと考えたから。
- 熊本大学理学部理学科に4年在学し、在学時に行った研究を続けたかったため。
- 学部から更に深く学び、研究したいと思い、今まで学んでいた熊大に進学するのがベストだと感じたから。
- 将来的に化学に携わる仕事をしたいと思い、その知識を学ぼうと考えたため。
- 学部時に行っていた研究を深め、有意義な研究生活を送りたかったため。自分のやりたい研究が出来ると思ったから。
- 自分の研究を続けて更に深めたいと思ったから。
- 専攻科目について更に勉強をしたかったから。
- 研究したい分野があったから。
- 学部の時に研究したことをさらに深めたいと思ったから。
- 学部時の研究をもっとやってみたいと思ったため。
- 4年次、現在の研究室で研究にたずさわって、楽しかったから。
- 自分の将来像を描くことが出来ずに就職活動を行わないまま大学生活を送ってしまったので、院に進学できればと思いました。それに際して、全く考えなしに自分が在籍していた研究室のある熊本大学の本専攻を選択しました。
- 大学での研究を継続し、専門性を高めるため。
- 熊本大学理学部在学中の研究を続けたかったため。
- 大学で学んだ分野をさらに深めるため。

- 学部4年次に研究していた内容をより発展させた研究をしたかったため。
- 元々生物学に興味があり、本大学理学部で卒業研究を行った結果、さらにその分野を究めたいと考えたため。
- 学部時の研究内容をさらに深く追求したいと思ったから。
- 学部での研究を継続して行いたかったため。
- 専門性を高めたかった。 ・学部生のときの研究室の先生の前で学びたいと思ったから。
- 学部時の研究を同じ環境で続けたかったから。
- 卒業研究を続けて、分子生物学の知識を深めたかったから。
- 学部4年時の研究を続けたかったため。 ・より専門性の高い職に就くことが可能になるため。
- 学部生のときに研究していた内容をより深めたいと思ったから。
- 大学時に行っていた研究を継続したかった為。
- なりゆき
- 卒業研究での研究を、もっと深く追求したいと思ったからです。また学部卒業では、就職の際に研究職に就くことが出来ないと思ったからです。
- 卒論で取り組んだ研究をもっと膨らませたかったから。
- 研究を同じ環境で継続的に行うことができるから。
- 4年生での研究内容をもっと解明していきたいと思ったため、学部生と同じ研究室を選び院に進学した。
- 4年の時に行った研究を続けたいと思ったため。
- 学部時代から継続して、研究を続けたかったため。
- 教員免許の専修免許を取得するため。
- 生物を学ぶため。
- 大学から引き続き、同じ先生から指導していただけるので。
- 学部の研究を継続して研究したかったから。
- 自分が学部の時に興味を持っていたテーマをさらに掘り下げて研究することができるから。
- 海洋生物の研究ができるため。
- 学部生の時の研究結果に満足いかず、研究を続けて納得いく結果を出したかったため。
- 学部で行った卒業研究のテーマを引き続きやりたいと思ったから。また、専門職に就きたいと考えていたため。
- 卒業研究の1年では満足のいく結果が出ないと思ったため。

多くあった意見をまとめると以下のようなになる。

研究を深めたい(継続したい) 50件

学部と同じ環境で学びたい 8件

学部と同じ先生に学びたい 4件

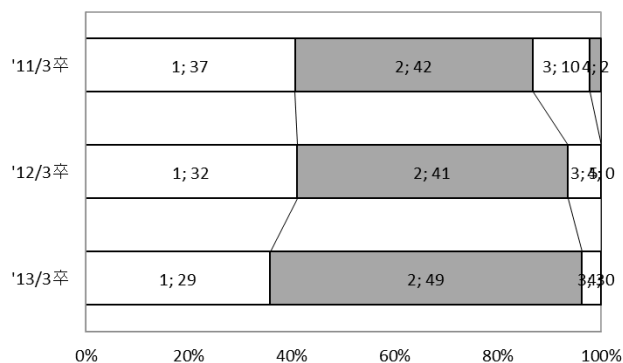
学部が物足りない 4件

B. 教育・研究について

熊本大学理学部理学科を卒業された人に学部での授業や制度についてお聞きします。(該当しない人は次ページの質問 (B7) に進んで下さい).

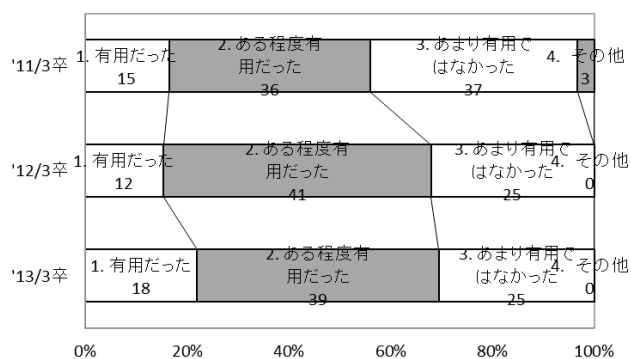
(B1) あなたの専門分野に関連する学部の専門科目は、大学院進学後の学習・研究に有用でしたか.

1. 有用だった
2. ある程度有用だった
3. あまり有用ではなかった
4. その他



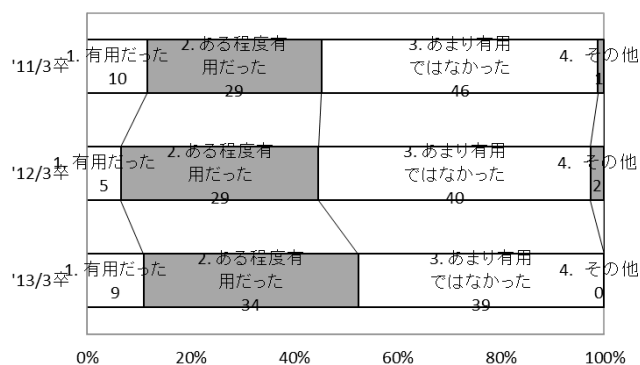
(B2) あなたの専門分野外の学部の専門科目 (専門基礎科目も含む) は、大学院での学習・研究に有用でしたか.

1. 有用だった
2. ある程度有用だった
3. あまり有用ではなかった
4. その他



(B3) 教養教育での学習は、大学院での学習・研究に有用でしたか. 具体的な事例があれば、自由記述欄にお書き下さい.

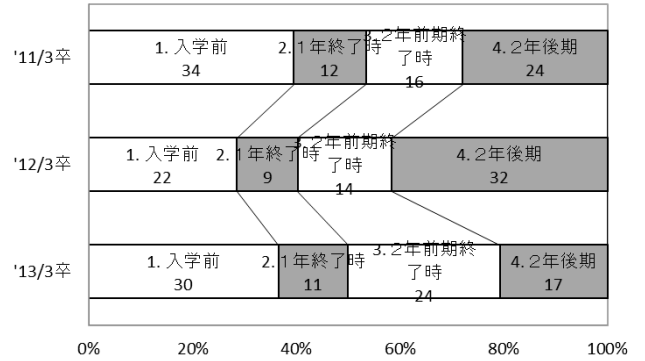
1. 有用だった
2. ある程度有用だった
3. あまり有用ではなかった
4. その他



専門分野に関連する学部の専門科目は「有用」と「ある程度有用」で約9割を占めている。一方、専門分野外の専門科目ではここ2年は70%程度になっている。教養教育に関しては、有用だったとする割合が今回はほぼ半数であった。

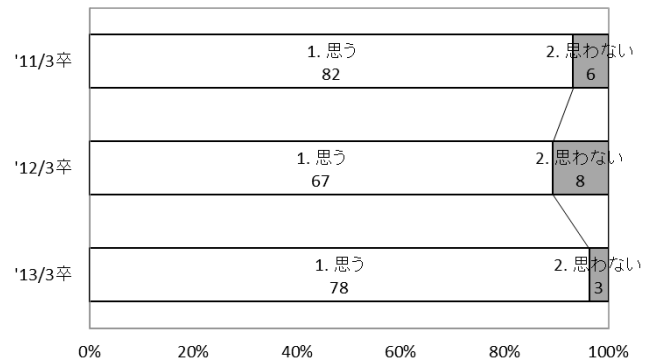
(B4) 理学科での専門分野はいつ決めましたか.

1. 入学前
2. 1年終了時
3. 2年前期終了時
4. 2年後期



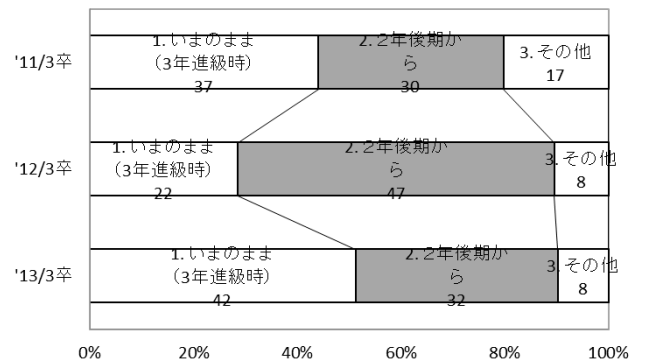
(B5) 今かえりみて、専門分野の選択は自分にとってよかったですか.

1. 思う
2. 思わない



(B6) 現在、3年進級時に教育プログラムを選択していますが、今かえりみていつがよかったですか.

1. いのまま (3年進級時)
2. 2年後期から
3. その他



今年度に関しては、約半数は1年次終了までに専門分野を決めている。逆に考えると半数の人は2年生以降に専門分野を決めており、大学1、2年次が専攻の選択に重要であることが伺える。専門分野の選択に関しては、ほとんどの院生が満足している。今回は「思わない」としている回答はほとんどなかった。

選択の時期に関する間については、昨年度は「2年後期から」が非常に多くなっていたが、今回は「いまま」が半数である。今後の推移を見守る必要がある。

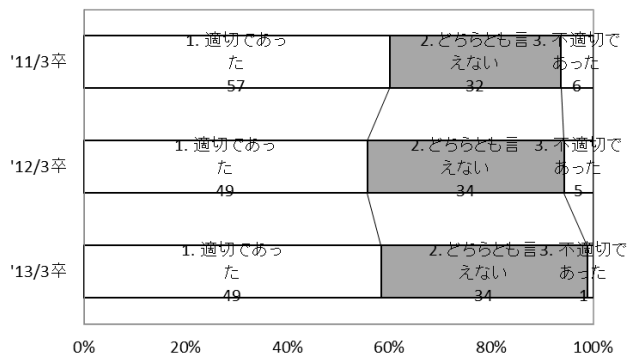
(B1) ~ (B6) に関する自由記述 :

- B6) 2年進級時
- B6) については2年前期からでよい。1~2年時の内容を3年時に一部繰り返すことになってしまい、とても遠回りに感じた。
- 教育プログラムの選択は、2年進級時のときが良いと思う。2年生は実験が少ないように感じる。
- 物理は研究室配属を早めた方がいいのでは？
- B6) 3年進級時に選択することにも利点があり、それ以前（例えば2年後期から）に選択することにも利点があると思います。選択を早めると、配属後の学習がスムーズになるかもしれませんが、じっくり考える時間が減りミスマッチも増えるかもしれません。
- 学部2年時の授業がない日が多すぎた。前倒しして専門教育及び研究室配属の時期を早めて欲しいと感じた。
- 実験はもっと増やすべきだと思う。
- もっと早い段階で専門に分かれていいと思う。
- B6) 3年次からだが遅いと思う。2年後期からでも仮選択として専門授業や実験を増やした方がいいと思う。
- 専門分野外の学習は、広い視野を持つという観点からも良いと思う。教育プログラムも出来るだけ早い段階から取り組むべきだと感じた。
- B6) について、もっと早めに選択が行えると、より深い知識が得られると思う。
- B3) について、英語を学んだことは海外の論文などを読む上で生かされました。
- 早い段階で専門を決め、学んだ方がより実のある研究活動に繋がると思います。
- 入学時から学科が分れている方が、より専門的な知識を学べるのではないかと思います。
- B6) 2年前期~

自然科学研究科での授業についてお聞きします。

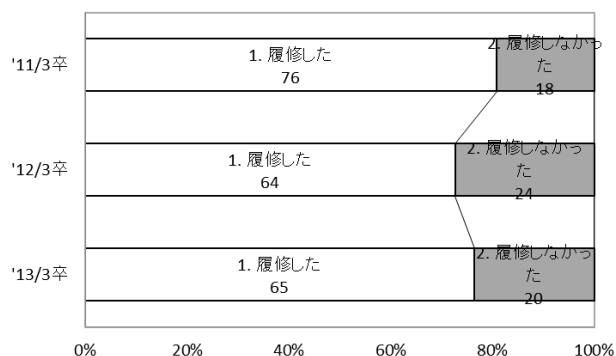
(B7) 必修科目数と選択科目数の割合は適切でしたか。
具体的な意見があれば、お書き下さい。

1. 適切であった
2. どちらとも言えない
3. 不適切であった



(B8) 理学専攻で他大学等の先生の集中講義を履修しましたか。履修した場合は、科目数もお書き下さい。
また、集中講義に対して具体的な意見があれば、お書き下さい。

1. 履修した (科目数 : 回答数 61 件)
2. 履修しなかった



必修と選択の割合については、約 60%が「適切」としている。「不適切」の回答はほとんどなかった。
また、集中講義は7割以上の院生が履修しており、大学院教育の重要な部分を担っていることがわかる。
科目数としては 1-3 科目と答える学生が多いが 10 科目という院生もいた。

(B9) 大学院の授業の中で特に有意義であった授業を挙げて下さい。

- ウィルスとワクチン 2 件
- 固体電子論 2 件
- 植物遺伝学 I 2 件
- 先端科学特別講義 2 件
- 動物生態学特論 2 件
- 特になし 2 件
- 微小領域物性物理 2 件
- プロジェクトゼミナール 3 件
- 有機化学 3 件
- 量子工学 I、II 3 件
- MOT 概論 (瀬戸英昭先生)
- MOT 全般
- いがりさん、小高さんの授業が良かったです！

- 一般相対論、宇宙物理学
- 科学英語 I
- 環境解析化学 I、II
- 環境解析化学 II
- 環境解析学
- 実験
- 集中講義であった課外授業
- 植物分子生物学 I
- 数学総合セミナー
- 数学総合ゼミナール
- 生命科学ゼミナール
- 生命科学特別研究
- ゼミ
- 総合科学A-4 (ウィルスとワクチン)
- 総合科学B-4 (河川とデルタの地質学)
- 大学以外で研究をされていたり、職歴が他人とは違う面白い方の講義
- 地下水学概論
- 地球ダイナミクス特論
- 光物性論
- 物理化学、分析化学
- プロジェクトゼミナール、公開講座
- プロジェクトゼミナール、先端科学講座
- 分析の講義 (前・後期ともに)
- 水文学特論
- 無機化学
- 無機化学IV
- 有機
- 有機化学 I、II
- 有機化学IV
- 有機化学V
- 理学特別講義A 1 1、小高信彦さんの授業、鳥類のフィールドワーク
- 量子光学
- 量子力学

(B10) 博士前期課程 2 年生で授業（特別研究やゼミナールを除く）を何科目履修しましたか。

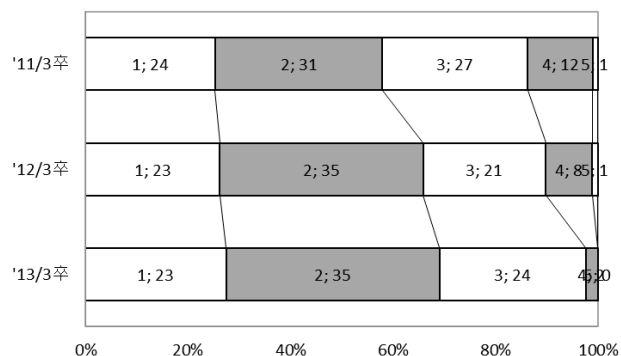
科目数： 平均 3.1 科目（うち集中講義 平均 0.9 科目）

回答数 74 件

科目数としては 1-2 科目の学生が多いものの、10 科目以上履修している院生もいる。集中講義に関しても 1~2 科目の学生が多く 9 割に達している。

(B11) 博士前期課程のカリキュラムは如何でしたか。

1. 満足
2. どちらかといえば満足
3. どちらとも言えない
4. どちらかといえば不満足
5. 不満足



「満足」「どちらかといえば満足」の学生が 6 割を越えて増加傾向にある。「どちらとも言えない」という回答を更に減らしていく必要がある。

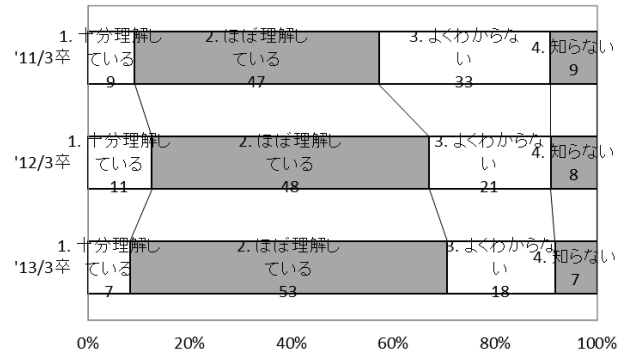
(B7) ~ (B11) に関する自由記述：

- 大学院に入る前に知っておきたかった専門知識もあったので、学部の時により詳しい授業をした方が良いと思う。
- M1 の授業が多かった。曜日を集中するなどして、研究にあてる時間をまとめてとれると良いと感じた。
- 開講数が少ない。
- MOT コースの授業が必修ではないがタメになった。
- 充実していた。
- 科学英語に対数スタンスがよく分らなかった。ガイダンスで「必ず受講すること」と説明されていたが、履修方法は選択であり受講したが、その有用性は感じなかった。必ず受講させたいのであれば、より充実した講義を行ってほしかった。

自然科学研究科の教育全般についてお聞きします。

(B12) 自然科学研究科の教育目的「総合的視野のもとに問題を解決し，広い分野で活躍することのできる高度専門職業人として育成する。」は理解していましたか。

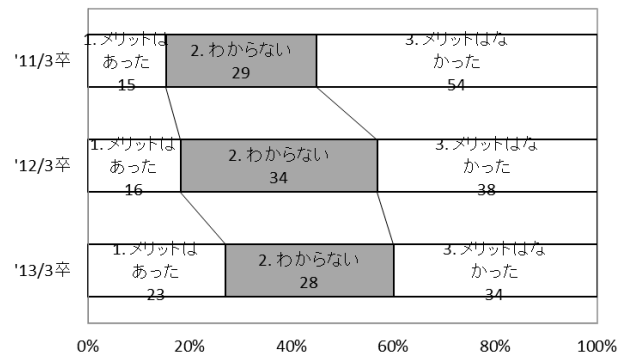
1. 十分理解している
2. ほぼ理解している
3. よくわからない
4. 知らない



「十分理解」「ほぼ理解」で 7 割であるが、一方で「よくわからない」も存在しており、今後も周知徹底などの対策が必要である。

(B13) 自然科学研究科は理学系の専攻と工学系の専攻からなる融合型の研究科ですが，その事のメリットはありましたか。

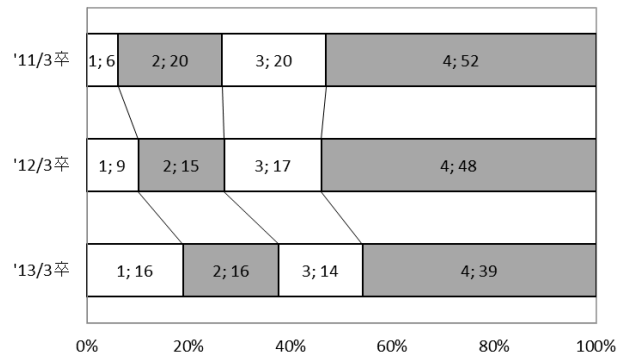
1. メリットはあった
2. わからない
3. メリットはなかった



「メリットはなかった」の率が減っているが、それでも 4 割を占めている。一方「メリットはあった」とする回答も 2 割を越えて存在しており、メリットを感じている学生もいる。

(B14) 工学系の専攻の大学院生との学術的交流はありましたか。

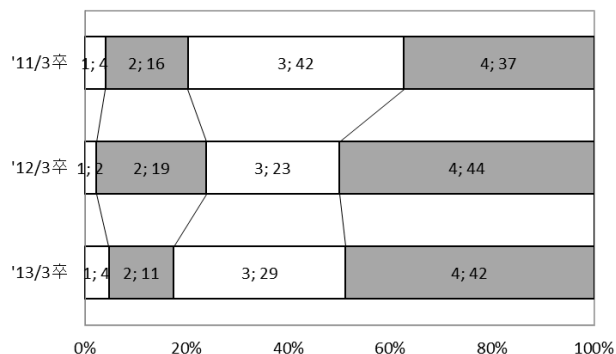
1. 工学系の大学院生と一緒に研究した
2. 工学系の大学院生と一緒に授業を履修した
3. 学術以外の交流があった
4. 全くなかった



工学系の大学院生と何らかの交流がある院生が 4 割近くとなっている。特に一緒に研究した院生の数が増えている。

(B15) 理学専攻の他コースの大学院生との学術的交流
 がありましたか.

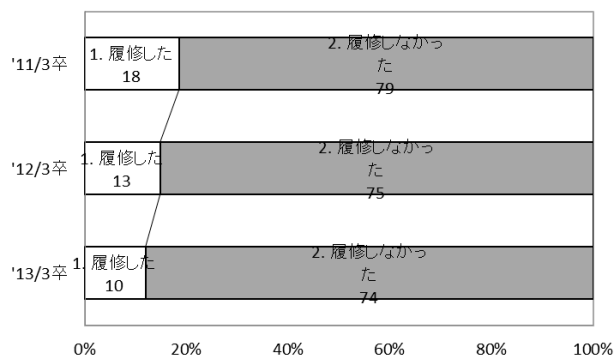
1. 一緒に研究した
2. 一緒に授業を履修した
3. 学術以外の交流があった
4. 全くなかった



理学専攻の中でも他コースと何らかの交流がある院生は 5 割に留まっている。「全くなかった」との回答も多い。今後の検討が必要かもしれない。

(B16) 他専攻（複合新領域専攻や工学系の専攻）の
 授業科目は履修しましたか.

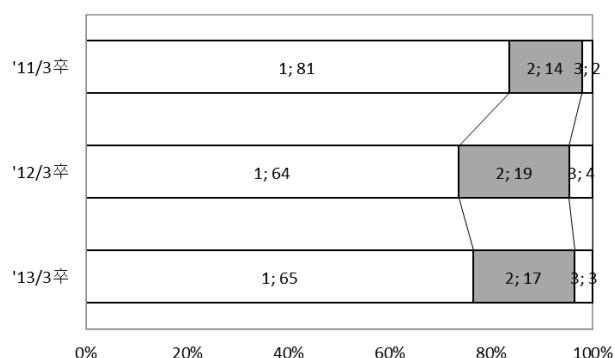
1. 履修した（科目数：回答数 9 件）
2. 履修しなかった



他専攻の授業を履修した院生は少なく、実質的に専攻を超えた授業の履修は行われていないと考えられる。

(B17) 全専攻共通科目のうちコース指定のない科目
 （プロジェクトゼミナール、特別プレゼンテーション、
 科学英語演習など）は履修しましたか.

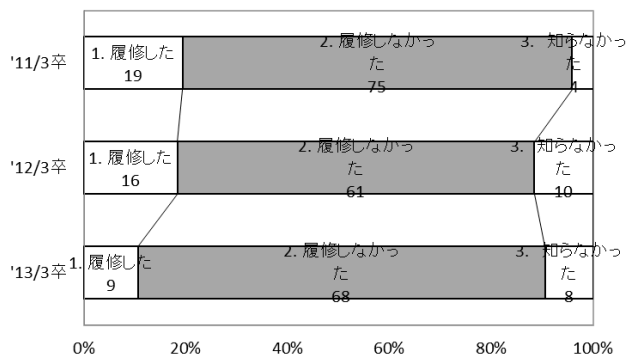
1. 履修した（科目数：回答数 59 件）
2. 履修しなかった
3. 知らなかった



7 割以上の院生が履修しており、プロジェクトゼミナールの履修などが定着していると思われる。

(B18) 全専攻共通科目のうち産官学連携、国内大学院連携、国際共同教育、MOT（総合科学 A～C など）は履修しましたか。

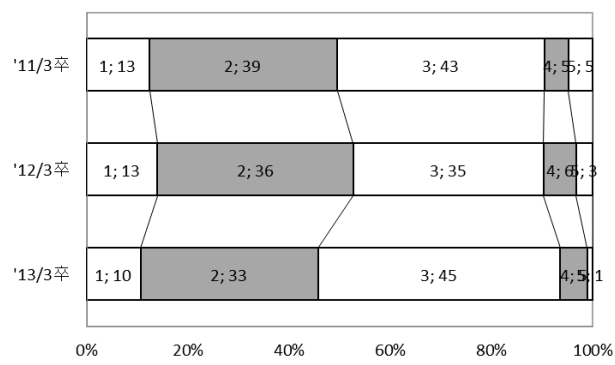
1. 履修した（科目数：回答数 9 件）
2. 履修しなかった
3. 知らなかった



(B17)と対照的に履修した院生の割合はかなり少ない。

(B19) 自然科学研究科の全面英語化計画（グラシウス計画）による授業の英語化について意見をお聞かせ下さい。（複数選択可）

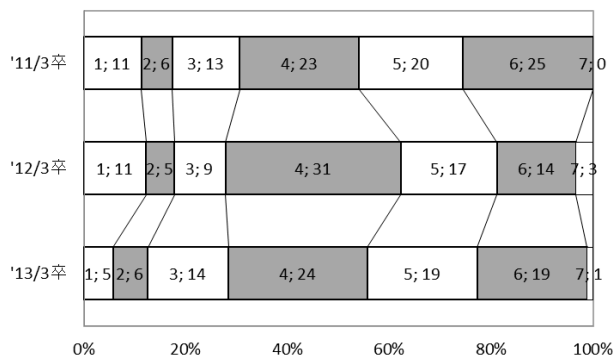
1. 全て英語が良い
2. 専門用語は英語が良い
3. 基礎的な内容は日本語が良い
4. 全く必要ない
5. その他



「基礎的な内容は日本語が良い」とする院生が多い一方で、「全て英語」「専門用語は英語が」と答える院生が 4 割いることは重要である。大学院教育における英語の使い方を検討すべきだろう

(B20) 学部・大学院の6年間の中で勉学意欲が最も上がったのはどの時期ですか.

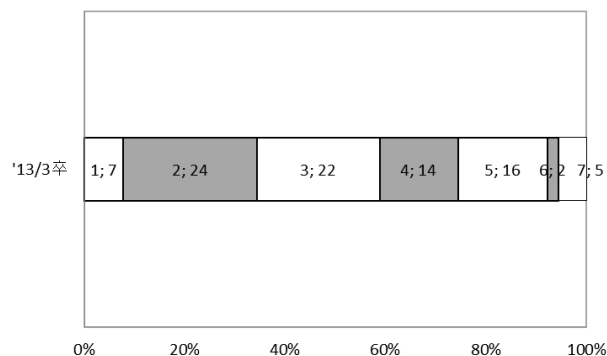
1. 1年次
2. 2年次
3. 3年次
4. 4年次
5. M1
6. M2
7. その他



今年度に関しては、「4年次」「M1」「M2」がほぼ拮抗している。やはり研究室で研究を行うようになってから、勉学意欲が上がっているものと思われる。

(B21) 振り返ってみて、学部・大学院の6年間で、いつの時期にもっと学修しておけば良かったと思いますか.

1. 1年次
2. 2年次
3. 3年次
4. 4年次
5. M1
6. M2
7. その他

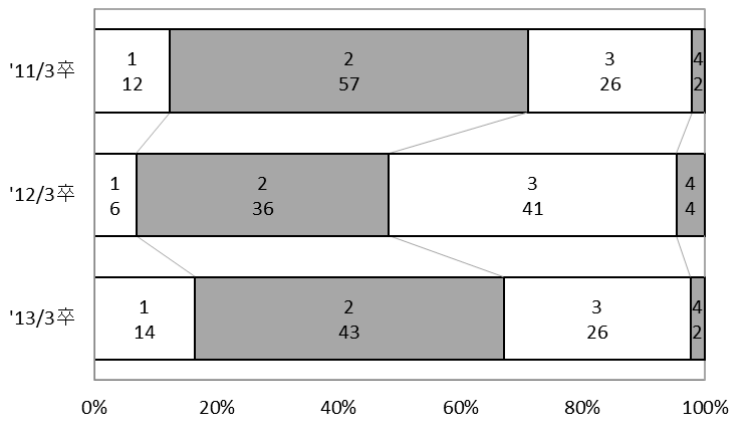


今年度初めての設問であり比較するデータはないが、大学2、3年次に学修しておくべきだったという回答が多い。

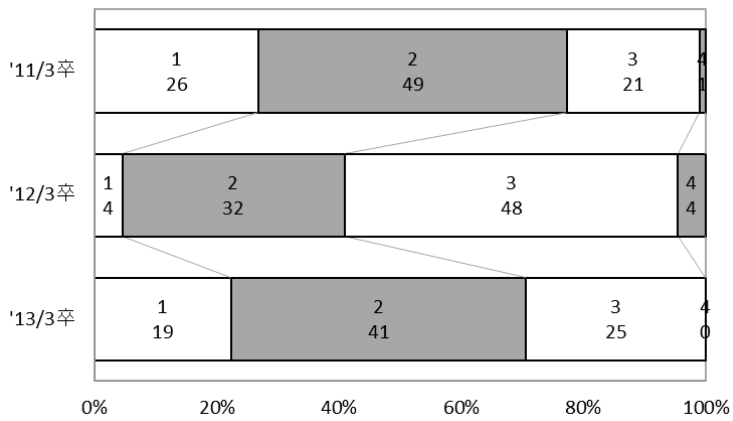
(B22) 学部・大学院の6年間の履修を通してどのような力が身に付いたと思いますか. それぞれの項目に関して、次の4段階で回答してください.

1. よく身に付いた
2. ある程度身に付いた
3. もっと身に付けたかった
4. 全く身に付かなかった

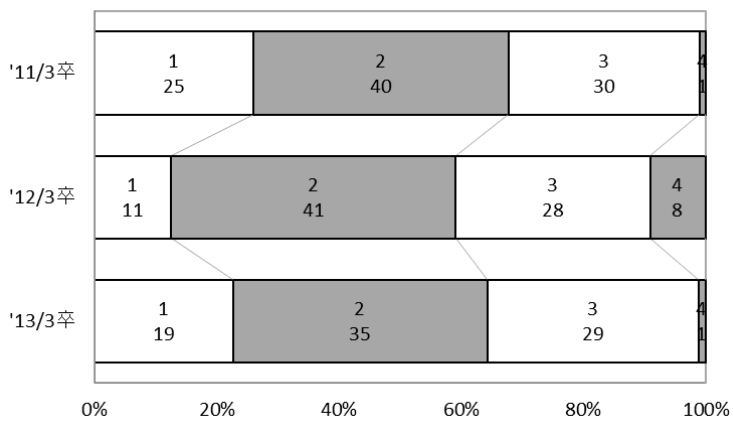
a. 教養・基礎学力：



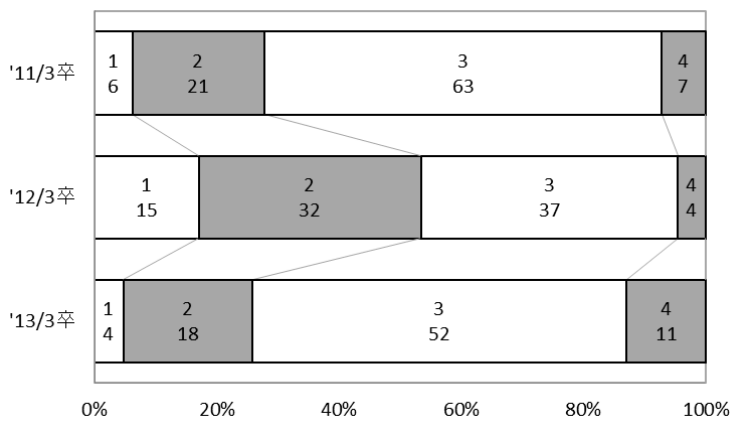
b. 専門知識：



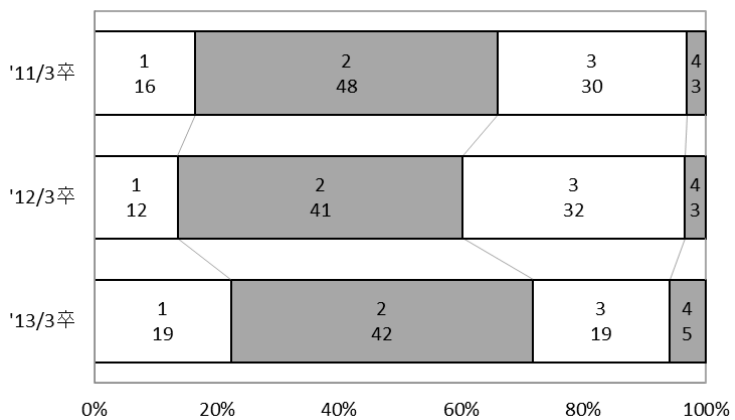
c. 技術・技能：



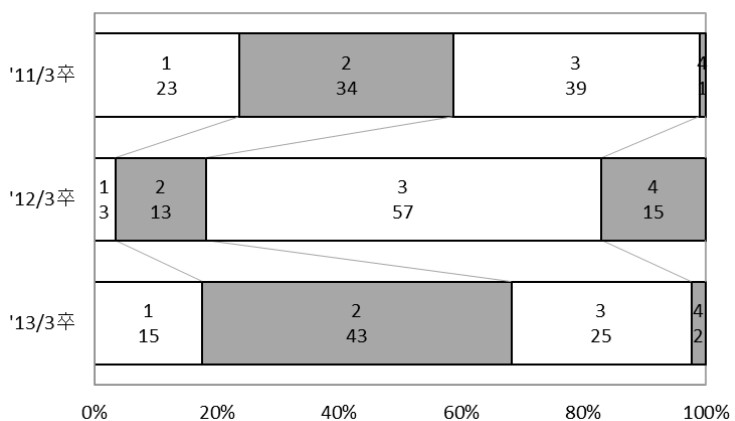
d. 英語を含めた外国語運用力 :



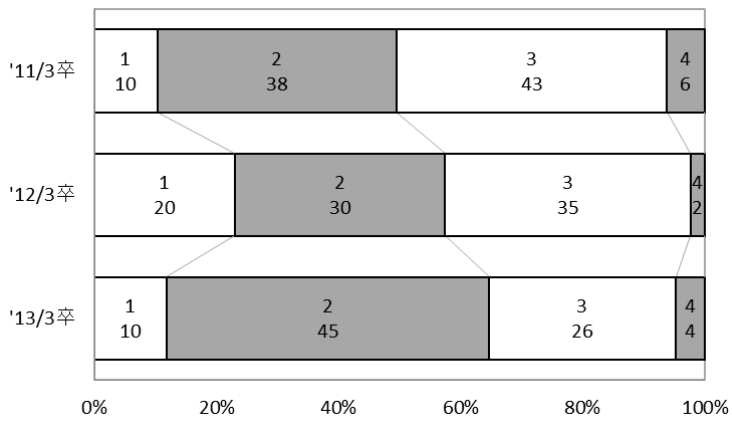
e. 一般的なコミュニケーション力 :



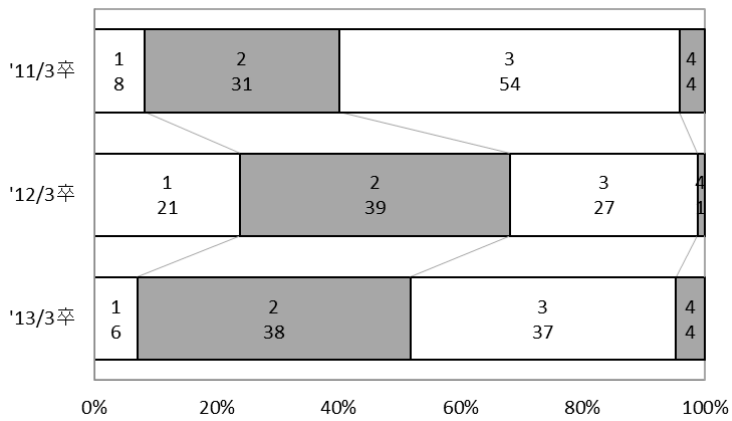
f. プレゼンテーション力 :



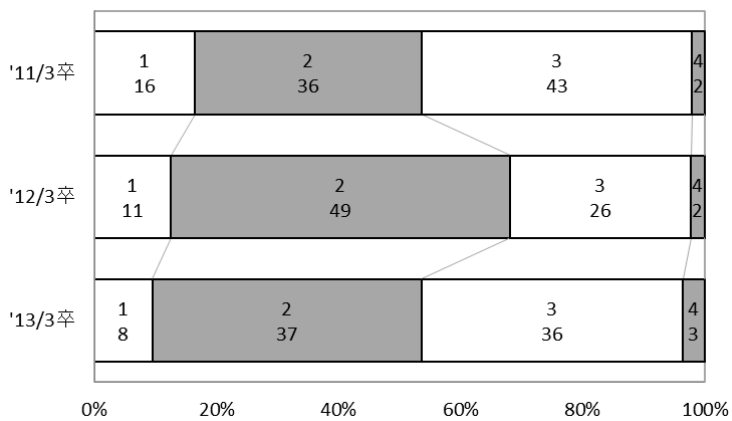
g. IT リテラシー・コンピュータ操作能力：



h. 独創性・発想力：



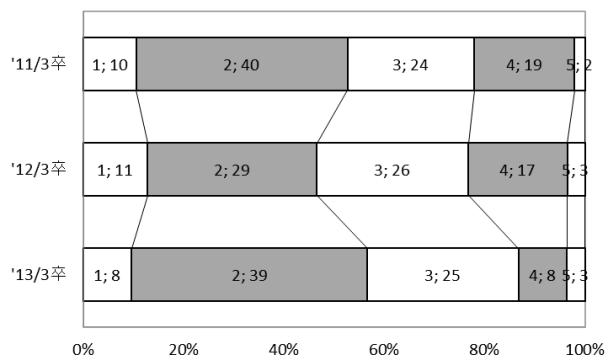
i. 課題発見・解決力：



全体的な傾向は一昨年度と同様だった。昨年度だけが少し異なる傾向を示しているのかについては、今後継続的に注視していく必要がある。

(B23)博士前期課程を修了するにあたり、理学修士としての専門能力が身に付いたと思いますが、自己評価として満足していますか。

1. 満足
2. どちらかといえば満足
3. どちらとも言えない
4. どちらかといえば不満足
5. 不満足



「満足」「どちらかといえば満足」で約 60%となっている。しかしこれは、「どちらともいえない」も含め「満足」していない院生が 4 割程いることを示しており、もっと詳細な調査が必要かもしれない。

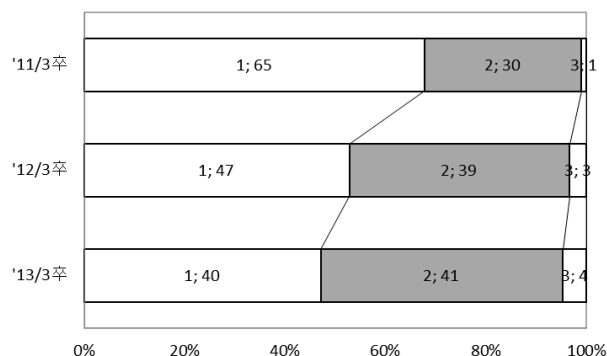
(B12) ~ (B23) に関する自由記述：

- B23) について、自分のプログラミングを理解するまでに時間がかかりすぎた。学部時代にプログラミングの技術を修得するための授業をもっと増やしてほしい。
- B14) 直接ではないが、研究室単位での交流があった。
- 英語は 1 年生から力を入れるべきである。
- 生命科学講座において、分子生物学の最前線が学べ、企業の方と共同実験も行え、有意義だった。
- B19) 計画の内容を知らないので何とも言えない。

修士論文の研究および研究指導体制やシステムについてお聞きします。

(B24) 修士論文の研究に平均としてどれだけ費やしましたか。

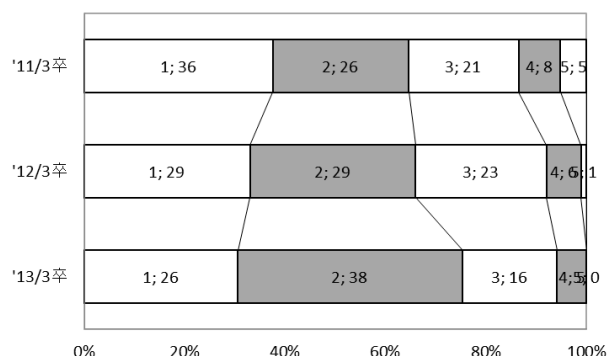
1. 毎日
2. 週の半分ぐらい
3. ほとんどしなかった



「毎日」とする学生が約半分であり、残りの半分は週の半分以下しか研究に使っていない。また、「毎日」の割合がだんだんと減っている。これは就職活動の長期化によるものが大きいと思われるが、詳細な検討が必要かもしれない。設問が毎日か半分しかないので、「3/4程度」も必要かもしれない。

(B25) 大学院での研究指導体制に対して満足していますか。

1. 満足
2. どちらかといえば満足
3. どちらとも言えない
4. どちらかといえば不満足
5. 不満足



「どちらかといえば満足」以上の回答が7割を越えている。今後は、「どちらとも言えない」とする人の数を減らしていく努力が必要であろう。不満足である理由も聞くべきかもしれない。

(B26) 研究を継続する上で役にたった項目（中間発表，学会発表，セミナーなど）があれば記述して下さい。

項目：55 件

- 中間発表 19 件
- ディスカッション 2 件
- 学会発表 37 件
- セミナー(ゼミ) 14 件
- 研究室での報告会、学科内での報告会
- 千葉大学の松本亮治教授が公開する宇宙磁気流体シミュレーターCANS のプログラム、サマースクールにも参加するべきだった。

中間発表や学会発表などの発表を挙げたものが多かった。セミナーおよびプロゼミも多い。発表することが研究に重要であることは伝わっているものと思われる。

(B24) ～ (B26) に関する自由記述：

- B25) について、根本的に研究室の学生の数が足りていないことが問題なのだが、学生間で研究内容や技術を引き継ぐ体制がほしい。
- B26) 化学科全体での報告会は、回数が適当であれば他分野の方々の意見がうかがえるので良いが、回数が多すぎると実験に費やす時間が削られて進行度が遅くなる。
- 同じ分野の人間同士で疑問点や課題を見つけ、解決のヒントにつながった。外部企業と研究することで、研究への意欲が高まった。

C. 修了後の進路について

(C1) あなたの4月以降の進路は何ですか。

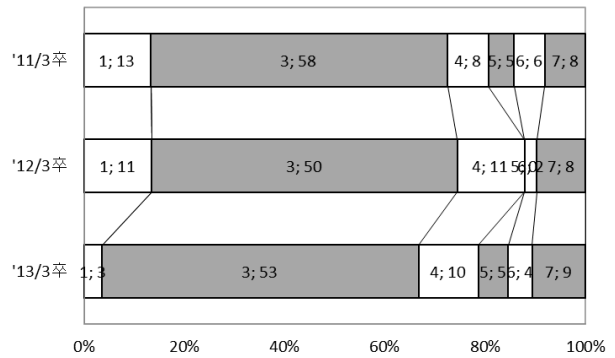
大学院博士後期課程へ進学

1. 熊本大学
2. 他の大学

就職

3. 民間企業
4. 教職（非常勤および臨時採用を含む）
5. 公務員
6. その他の就職先

7. その他（進学・就職以外）：8件



例年ほぼ同様の傾向で、民間企業に就職する院生が多い。教職や公務員も大学院生の進路として一定数あることは、重要である。

(C2) 大学院博士後期課程に進学する人にお聞きします。進学をいつ決めましたか。

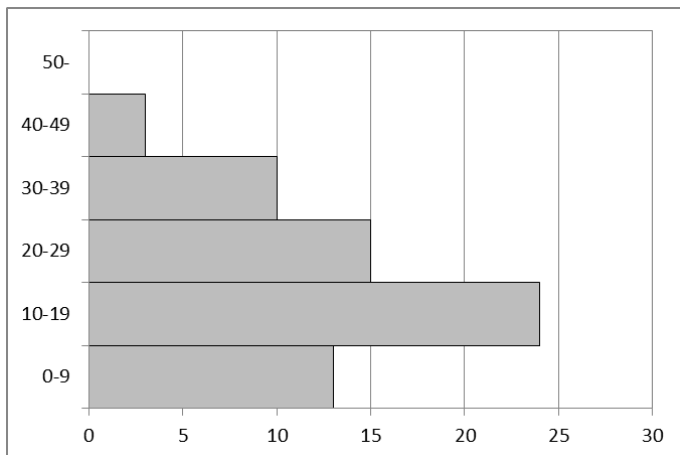
時期：3件

3件とも修士2年次に決めていた。

就職活動をした人にお聞きします。就職活動をしなかった人は(D1)に進んで下さい。

(C3) 就職活動（面接や企業訪問など）のため、企業を何回訪問しましたか。

回数：65件



ピークは10-19回にあるが、0-9回、20回以上という院生も多い。

(C4) 就職活動をおこなった期間はいつですか.

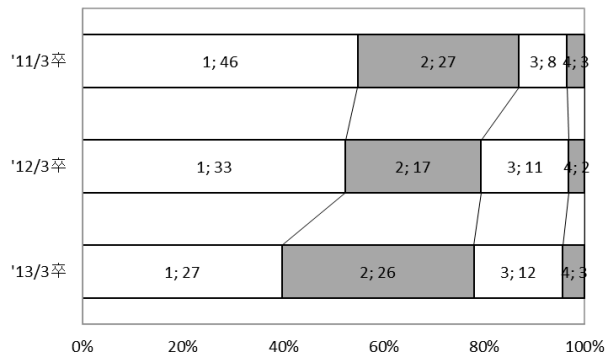
開始時期	人数
H22/12	1
H23/1	1
H23/10	1
H23/11	1
H23/12	42
H24/1	13
H24/2	4
H24/3	1
H24/4	1
H24/5	1

終了時期	人数
H23/6	1
H23/8	1
H24/4	11
H24/5	19
H24/6	10
H24/7	7
H24/8	6
H24/9	3
H24/10	1
H24/11	1
H24/12	2
H25/1	2
H25/3	1

就職活動の開始時期は、M1 の 12 月から M2 の 1 月であることがわかる。一方、終了時期はもう少し広く分散しているが、大体 M2 の 4-6 月である。遅い人では、M2 の年末や 25 年という人もおり、就職活動期間の長期化が懸念される。

(C5) 就職活動のため、大学院の授業や研究に参加できないことによる影響はどの程度ありましたか。

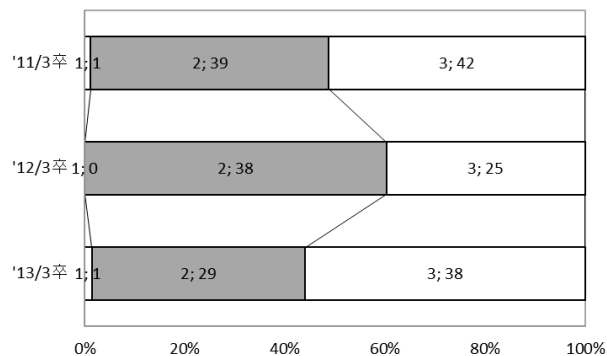
1. かなりあった
2. 少しあった
3. あまりなかった
4. 全くなかった



(C4)の結果から、就活が授業や研究に影響があることは容易に予想される。実際、(C5)の結果は、「かなりあった」、「少しあった」で8割に達している。熊本大学だけではなく、日本の大学全体の大きな課題である。

(C6) 現在理学部では特定の企業に対して学部長推薦の枠もあります。利用しましたか。

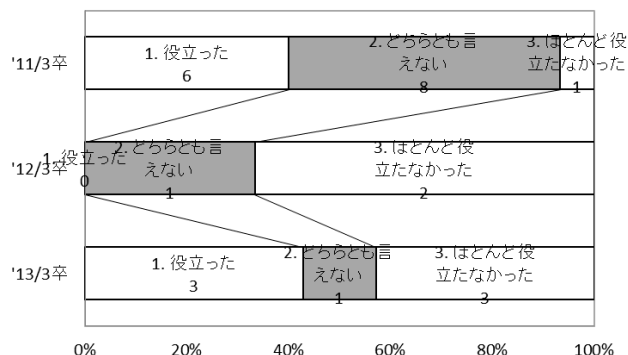
1. 学部長推薦を利用した
2. 学部長推薦があることは知っているが利用しなかった
3. 知らなかった



学部長推薦を利用した人は今年度は1名であった。今後も周知を徹底するとともに、就職支援の充実を進める必要がある。

(C7) 大学院で学外特別演習（インターンシップ）を履修した人にお聞きします。（教育インターンシップも含みます）卒業後の進路を決める上で役立ちましたか。

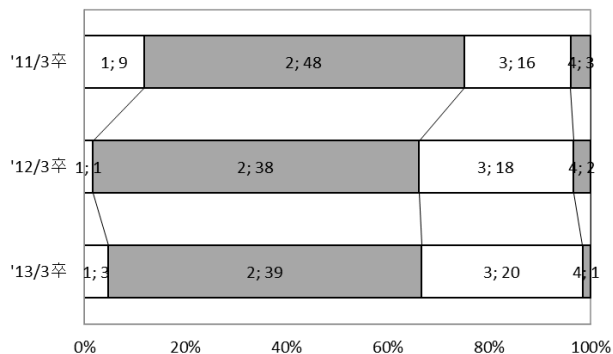
1. 役立った
2. どちらとも言えない
3. ほとんど役立たなかった



昨年度は「役立った」という回答がなかったが、今年度についてはある程度存在している。全体の数が少ないので、年度ごとのぶれが大きくなっているものと思われる。

(C8) 就職相談・キャリア支援の体制および情報には満足でしたか.

1. 大いに満足である
2. 満足である
3. 不満足である
4. 大いに不満足である



「満足である」の割合が昨年、今年と少し下がっている。今後も推移を見守る必要があるだろう。

(C3) ~ (C8) に関する自由記述 :

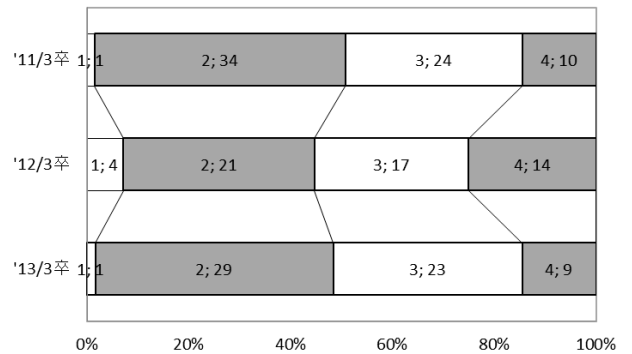
- C8、全く利用しなかった。
- C7) 応募したが落ちた。
- C8) 理学部は特に利用しなかった。
- C6、C8 について、就職活動、特に推薦に関しては知らない生徒が多くいるので、メールや掲示をもっと積極的にしてほしいです。
- C8) 但し、理工系専門職の就職活動に関する知識・理解が乏しいと感じました。文系一般職と全く違うのでぜひそちらの情報も充実させてほしい。
- 就職に関しては支援を全く利用しなかった。
- 理系と文系のキャリア支援担当は別にしてほしい。
- C8) キャリア支援ユニットでの支援には満足。学部長推薦などが周知されていないことなど、理学部の就職支援には疑問がある。
- C8) 利用していない

熊本大学理学部理学科を卒業した人にお聞きします (該当しない学生は (D1) に進んで下さい).

(C9) 就職活動で数学・理科の専門基礎を幅広く学んだ

ことが役に立ちましたか。

1. 採用の決め手となった
2. ある程度役にたった
3. どちらもとれない
4. 役に立たなかった



「採用の決め手となった」は 1 名だけであるが、「ある程度役にたった」までいれると約半数であり、ある程度の評価を受けている。一方、これは半数の人は価値を見いだしていないことを表しており、今後検討する必要がある。

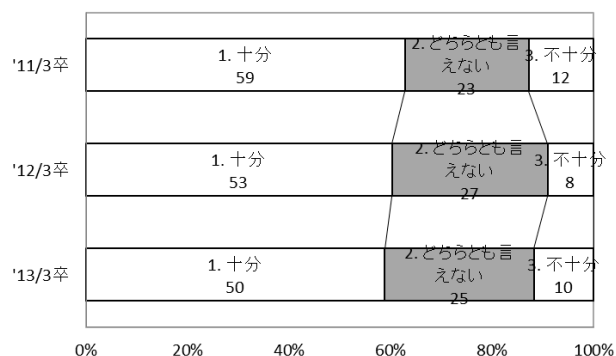
(C9) に関する自由記述：

- 特に役に立つ機会が思いあたらない。
- 基本的に高校までの知識で十分だったが、専門分野の知識は役に立った。

D. 学習環境や学生生活について

(D1) 自主的に学習できる場所や施設は十分ですか。
必要なものがあれば「自由記述」に挙げて下さい。

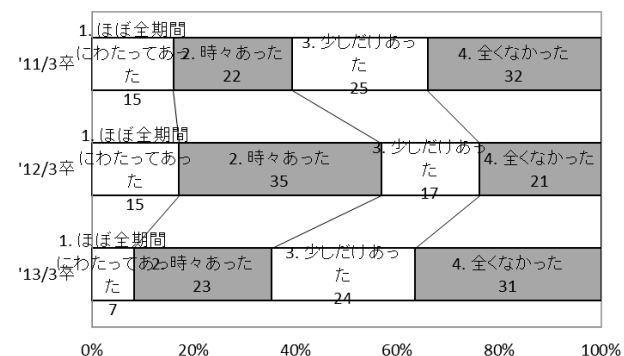
1. 十分
2. どちらとも言えない
3. 不十分



「十分」が6割であるが、「どちらとも言えない」や「不十分」も多い。あまり自由記述がなく、対応に苦慮する。

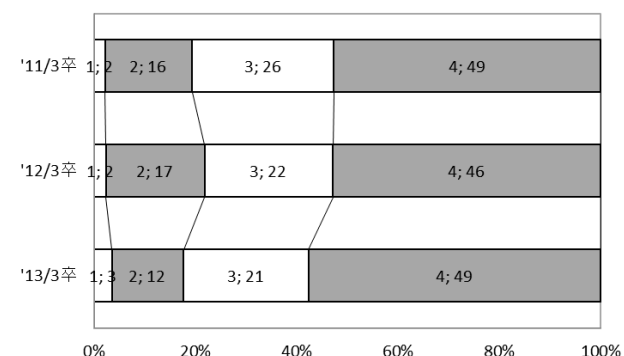
(D2) 在学中は、学生生活を続けていく上で、経済的な問題がありましたか。

1. ほぼ全期間にわたってあった
2. 時々あった
3. 少しだけあった
4. 全くなかった



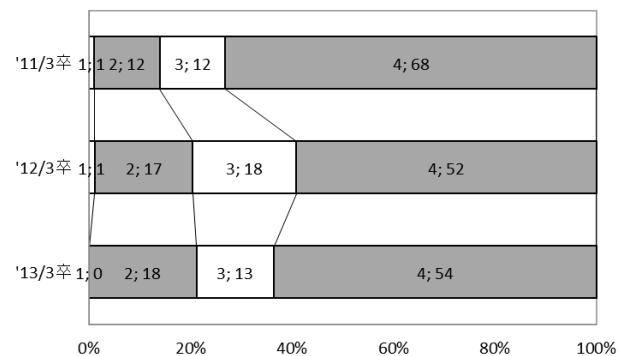
(D3) 在学中は、教員や学生との人間関係で問題がありましたか。

1. ほぼ全期間にわたってあった
2. 時々あった
3. 少しだけあった
4. 全くなかった



(D4) 在学中は、住居の条件や環境に問題がありましたか。

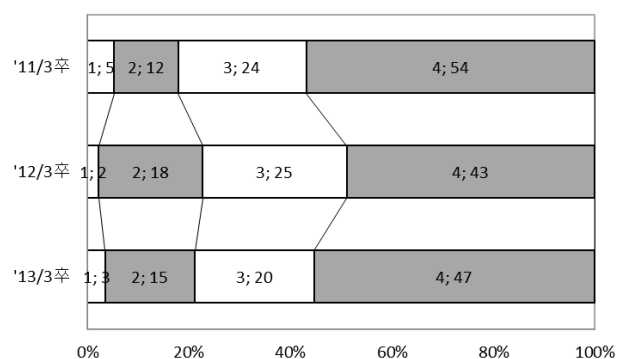
1. ほぼ全期間にわたってあった
2. 時々あった
3. 少しだけあった
4. 全くなかった



昨年、経済的な問題が「時々あった」とする院生の割合が増えたが、今回は一昨年のレベルにまで下がった。それでも 40%近いことを考えると、経済的な支援の検討を進める必要があるだろう。また、人間関係の問題も「ときどきあった」まで入れると 40%に達しており、検討が必要である。対応する窓口の周知など更なる対応の充実が求められる。住居・環境については上記 2 つよりは少ないが 2 割で問題が「時々あった」としており、これからの院生への対応策が必要である。

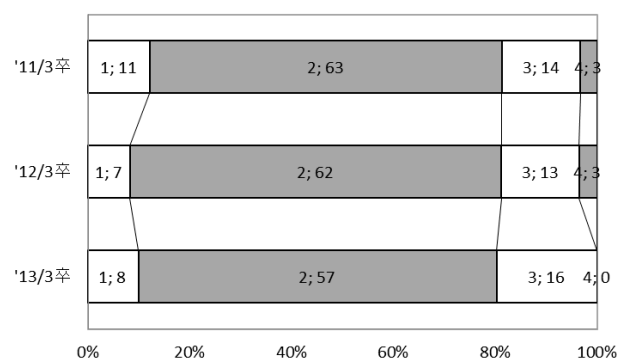
(D5) 学生生活を続けていく上で健康面に問題がありましたか。

1. ほぼ全期間にわたってあった
2. 時々あった
3. 少しだけあった
4. 全くなかった



(D6) 健康相談の体制には満足できましたか。

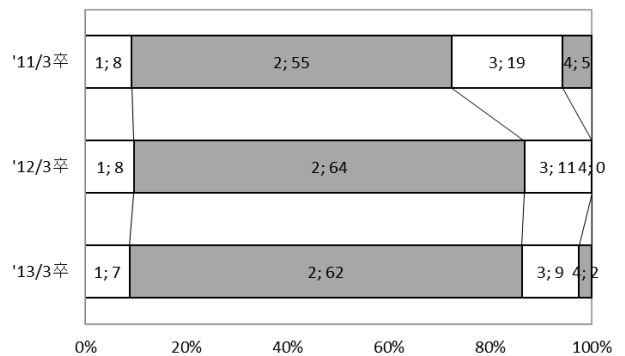
1. 大いに満足である
2. 満足である
3. 不満足である
4. 大いに不満足である



健康面に問題が「時々あった」院生の割合が 2 割おり、これらの院生に対する策を検討する必要がある。相談体制に関しては、「満足」している院生が 8 割となっており、現状の満足度は高い。

(D7) 各種ハラスメント相談の体制には満足できませんでしたか.

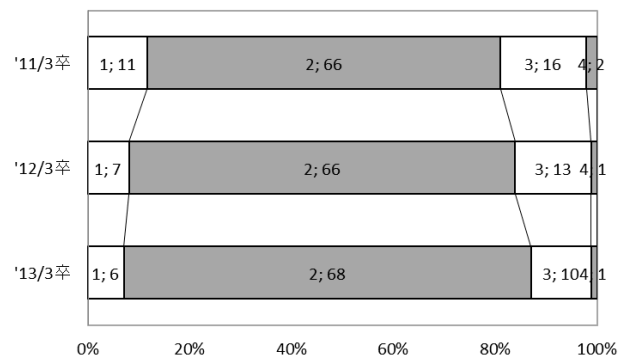
1. 大いに満足である
2. 満足である
3. 不満足である
4. 大いに不満足である



「満足である」が8割を占める多数となっている。

(D8) 授業・学習支援・生活支援を含む熊本大学の学習環境全体の満足度についてお聞きします.

1. 大いに満足である
2. 満足である
3. 不満足である
4. 大いに不満足である



環境全体に関する満足度も高く、8割を越えている。残りの2割にどのような不満があるのか、更なる調査が必要かもしれない。

(D1) ~ (D8) に関する自由記述 :

D6・D7、利用していない。

D1) 計算機室が自然科学研究棟に移動した点が不満。なぜ夜間の利用を制限するのか。 D6~D7) については特に利用しようと思わなかった。

D6) D7) よく分らない。

先生方には非常にお世話になった。ただ、講義室の狭さはどうにかして欲しいと感じた。スペースが狭く、教科書とノートを同時に開けないことがあった。(D1に関して)

体制については知らない事が多すぎた。

D3) について、他人とのコミュニケーションを敬遠していたので、少ないという意味で自分に問題があったため。

経済的な面で苦勞した。学費の半額(全額)免除申請が通らない場合の理由を教えてください。

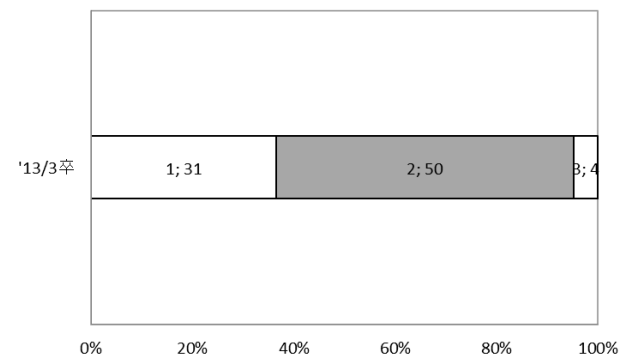
D6)、D7) 利用していないのでよく分らない

E. 授業改善アンケートおよびシラバスについて

大学院の授業に関するシラバスについてお聞きします。

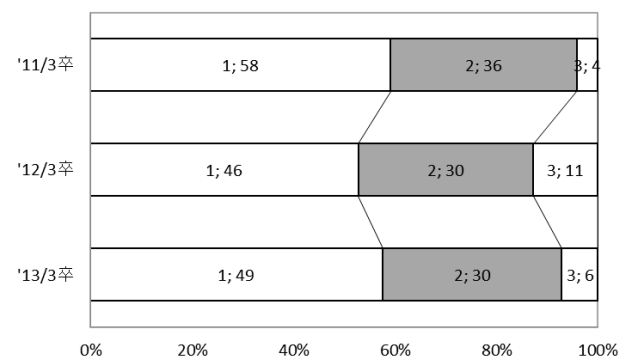
(E1) シラバスは良くよみましたか。

1. 良く読んだ
2. 真剣には読まなかった
3. 見ていない



(E2) 履修する科目を選択する際にシラバスは役立ちましたか。

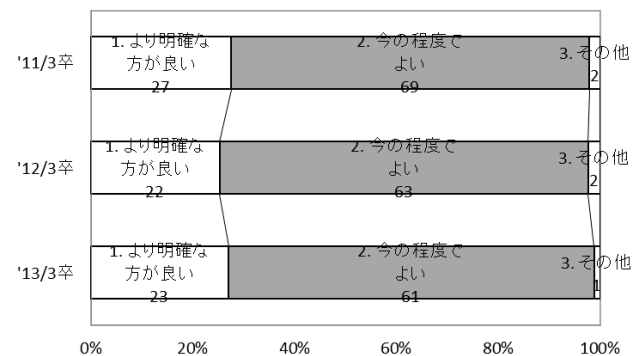
1. 役立った
2. どちらとも言えない
3. ほとんど役立たなかった



シラバスは「真剣には読まなかった」が、履修科目の選択には「役立った」ようである。大学院の授業においてもある程度シラバスが利用されていることがわかる。一方、3割がシラバスが役立ったかについて「どちらとも言えない」としており、今後検討が必要である。

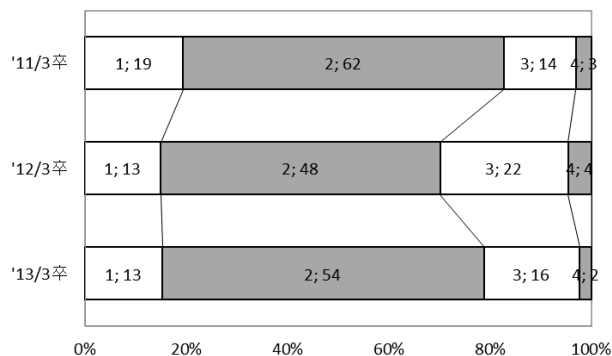
(E3) シラバスの成績評価の方法はもっと明確なものが良いですか。

1. より明確な方が良い
2. 今の程度でよい
3. その他



(E4) 全体的に、シラバスに記載された方法で厳格な成績評価が行われていると思いますか。

1. 行われている
2. 多くの科目で行われている
3. あまり行われていない
4. その他



(E3)では「今の程度でよい」が7割を超えており、(E4)では厳格な成績評価が多くの科目で行われているという評価である。大学院の授業の成績評価であるので、成績に対する院生の意識がどの程度であるかを検討する必要があるだろう。

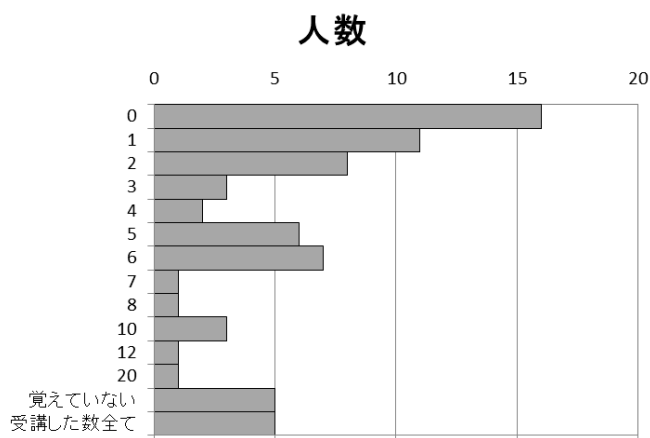
(E1) ~ (E4) に関する自由記述：

- E4) 分らない
- 修了に必要な単位だけはきちんとシラバスを読んだ。

大学院の授業に対して行われた「授業改善のためのアンケート」についてお聞きします。

(E5) 在学中何科目の授業でアンケートに回答しましたか。

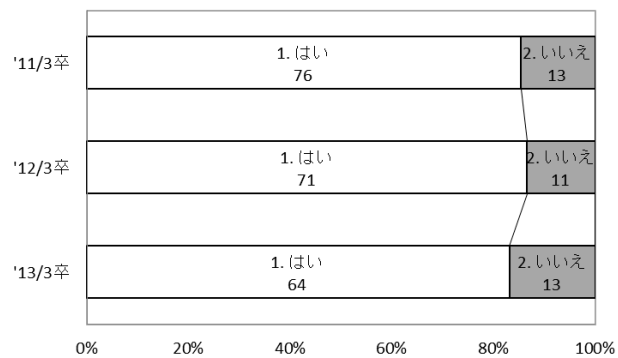
科目数：(70件)



ほとんどすべてと答える院生もいるが、回答したことがないという人も多い。

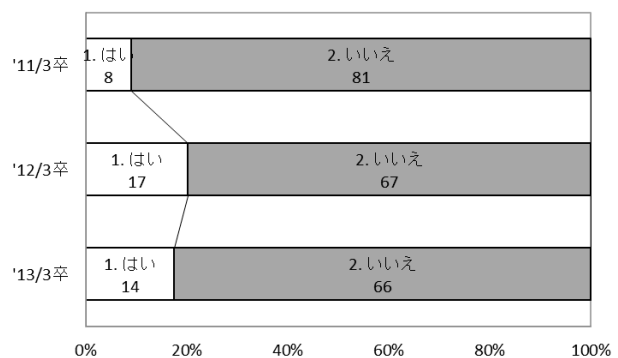
(E6) アンケートの回答に積極的に協力しましたか.

1. はい
2. いいえ



(E7) Web 上での教員のコメントは読みましたか.

1. はい
2. いいえ



教員のコメントはほとんど読まれていないことがわかる。この割合はシステム的な問題と思われるので、システムの改善が望まれる。

(E5) ~ (E7) に関する自由記述 :

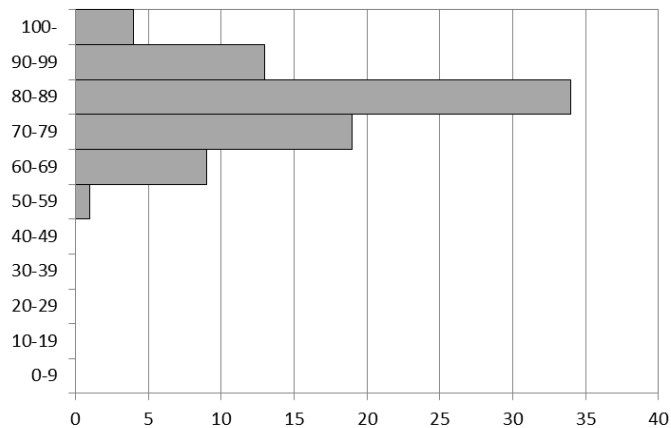
- E5) E6) 覚えていない。
- アンケートに答えても変わらない。
- 教員のコメント等、アンケートのフィードバックがあったので良いと思う。
- 大学生の時は数多く解答しましたし、Web コメントも見えました。

F. 総合評価

理学専攻に対する評価をお聞きします。

(F1) あなたの理学専攻に対する評価・満足度を 100 点満点で点数をつけて下さい。

点数：(回答数 80 件)

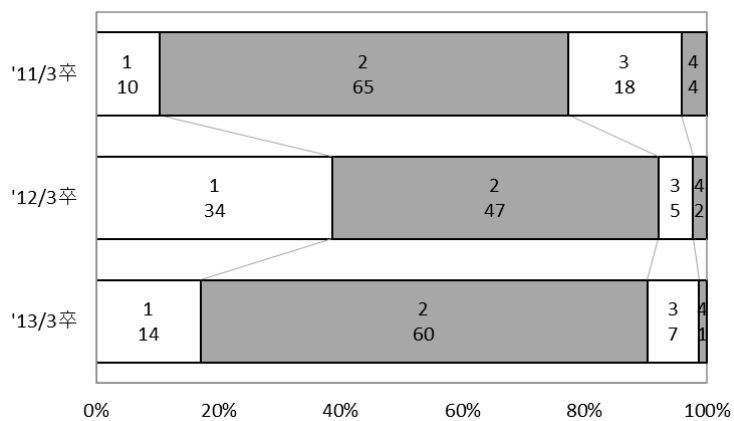


80-89 点をピークとしており、概ね満足していると感じる院生が多いことがわかる。

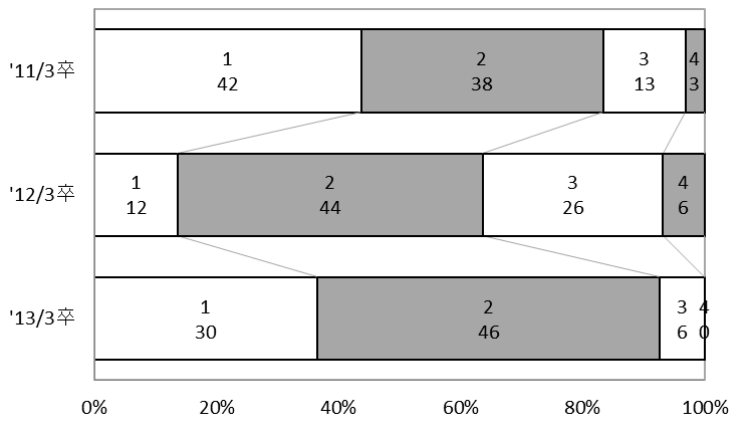
(F2) 理学専攻の評価項目に関して次の 4 段階で回答して下さい。

1. 大いに満足である
2. 満足である
3. 不満足である
4. 大いに不満足である

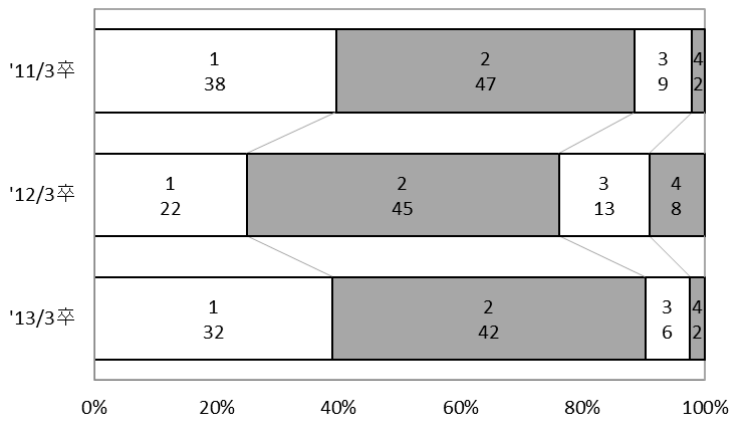
a. 授業科目の開設状況：



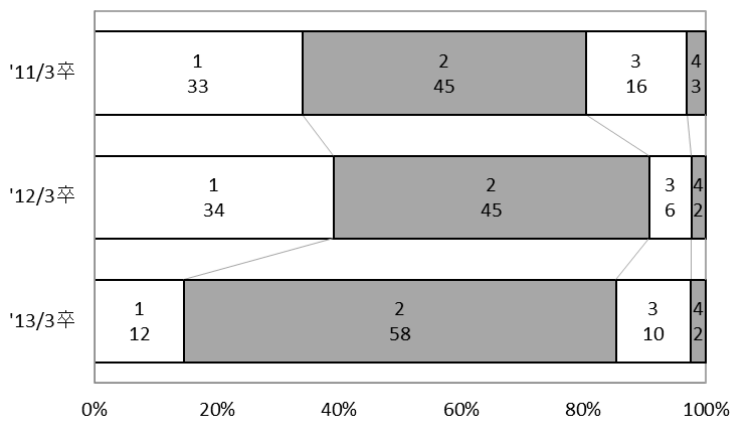
b. 修論等の指導 :



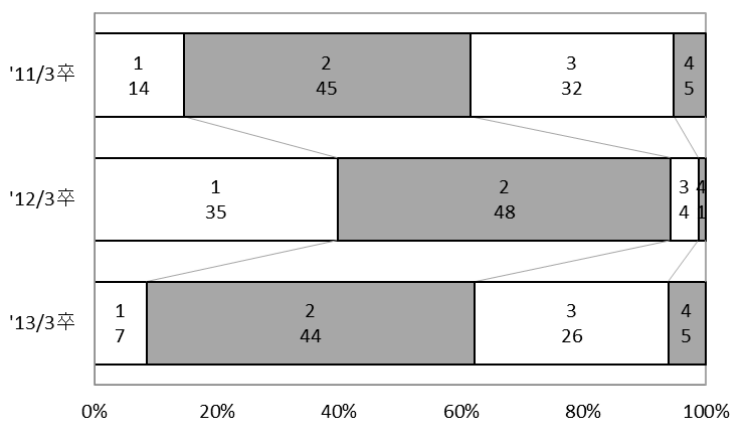
c. 研究室等での人間関係 :



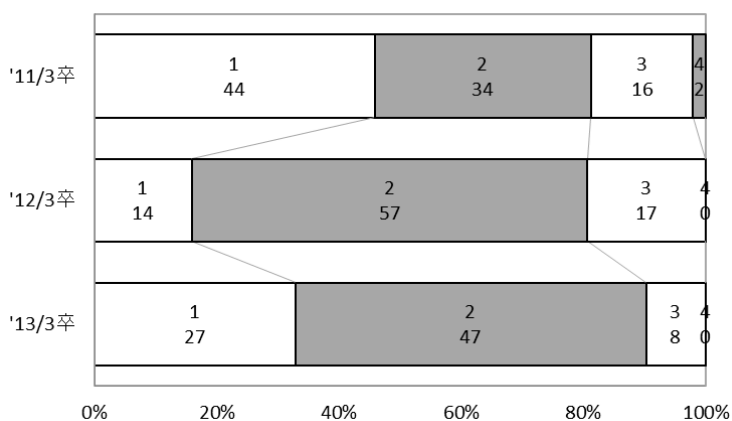
d. 施設や図書等の勉学環境 :



e. 国際交流：



f. 教職員等の熱意・対応態度等：



3年間分のアンケートを見ると、昨年度が一昨年・今年と少し異なることが見て取れる。これらについては今後もアンケート活動続けることで明らかにしていく必要があるだろう。

(F1) ～ (F2) に関する自由記述：

- 先にも述べたが研究室に各学年2人以上必ずいるようにしてほしい。
- 物理の実験器具は古いものが多いので、そろそろ新しいものにして欲しい。
- F2) d.図書館が全く快適でなかった。節電も良いが、夏場歩き回っただけで汗をかく様な館内環境は施設としてどうかと思う。
- 実験室がやや手狭に感じた。
- このようなアンケートは紙のムダ。
- 図書館の改修長すぎ。